

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎	2単位 教養科目	日本国憲法	堀田 学	1年次	秋

授業のキーワード	国民主権、基本的人権の尊重、平和主義
授業の概要	日本国憲法は、最高法規であるため様々な法律にもその理念が生きています。日本国憲法は、身近な生活にもその理念は活かされています。この授業では、日本国憲法の意義と課題について考えていきます。
期待される学習成果（目標）	1. 教員免許の必修科目として、日本国憲法の理念を理解する。 2. 憲法の規定による統治機構が理解できる。 3. 人権概念を理解する。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	憲法とは	この授業のオリエンテーションをします。また、憲法と国家の関係について説明します。	第9講	国民の権利および義務4	参政権について一票の格差の問題を踏まえ説明します。
第2講	大日本帝国憲法と日本国憲法	大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点を説明します。	第10講	新しい人権	憲法制定時に想定していなかった現代の新しい人権について考えていきます。
第3講	憲法の法源と解釈	法源と憲法解釈について解説します。	第11講	国会	国会の構成と組織、その権能について説明します。
第4講	国民主権と象徴天皇制	国民主権と象徴天皇制、国事行為について説明します。	第12講	内閣	議院内閣制と内閣組織、その権能について説明します。
第5講	平和主義	戦争の放棄、第9条について説明します。	第13講	裁判所	日本の司法組織と権能について説明します。
第6講	国民の権利および義務1	人権の総説と歴史的展開について説明します。	第14講	地方自治	地方自治の本旨と地方自治体の権能・組織について説明します。
第7講	国民の権利および義務2	精神的活動の自由について説明します。	第15講	憲法改正	硬性憲法である日本国憲法の憲法改正について考えます。
第8講	国民の権利および義務3	経済的自由権について説明します。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法	定期試験（100%）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
伊藤正己『憲法入門 〔第4版補訂版〕有斐閣、2006年 『ポケット六法（平成26年度版）』有斐閣、2013年			小嶋和司・大石眞『憲法概観（第7版）』有斐閣、2011年初版 正典功編『目で見える憲法〔第4版〕』有斐閣、2012年		